

令和6年度 クレドアワード

副知事賞 (2件)





副知事賞

自由テーマ部門

刈草の堆肥化によるコスト
及びCO2の縮減

福井土木事務所 主事 藤井 亮輔

福井土木事務所 主事 岸本 拓海

福井土木事務所 主任 小西 隆寛

共創部門

ICTで森林整備の効率化に挑戦

丹南農林総合事務所 主事 高木 智仁

嶺南振興局林業水産部 主事 谷口 雄哉

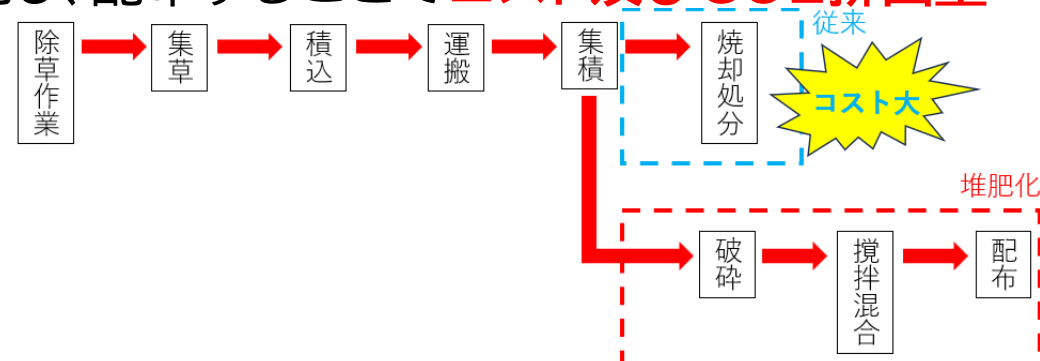
嶺南振興局林業水産部 主任 加藤 瑞樹

刈草の堆肥化によるコスト及びCO2の縮減



(1) 取組概要

福井県では点検を目的とした、河川堤防等の草刈を実施している。近年、労務費や燃料費等が増加し、限られた維持管理の予算の中で必要な範囲の草刈を実施することが難しくなっている。刈草は再資源化施設による焼却処理等を行っているが、この焼却処理を堆肥化し、配布することで**コスト及びCO2排出量の縮減**を図ることを目的とした。



(2) 成果

- ・当事務所における、河川除草工全体の約1割に当たる**処分量36t、処分費約100万円を削減**
- ・焼却処理を堆肥化したことでCO2排出量を**約5t削減**※
※環境省の算定方法より算出



(3) アピールポイント

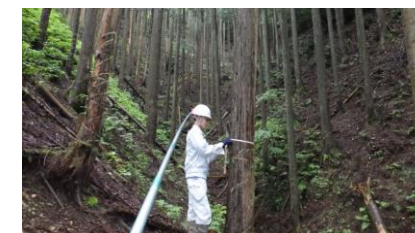
- ・来年度以降、順次規模を拡大していく計画であり、当事務所管内の河川堤防・道路の除草工事を併せたすべての刈草を堆肥化した場合、草刈に要していた**維持管理費を更に大幅縮減可能**
- ・当事務所のみならず、他事務所や他部局、更には各市町にも水平展開されることで**県全体の維持管理費の縮減**につながる
- ・令和7年4月下旬に堆肥が完成する見込みなので、**皆様ぜひ取りに来てください！！**

ICTで森林整備の効率化に挑戦



(1) 取組概要

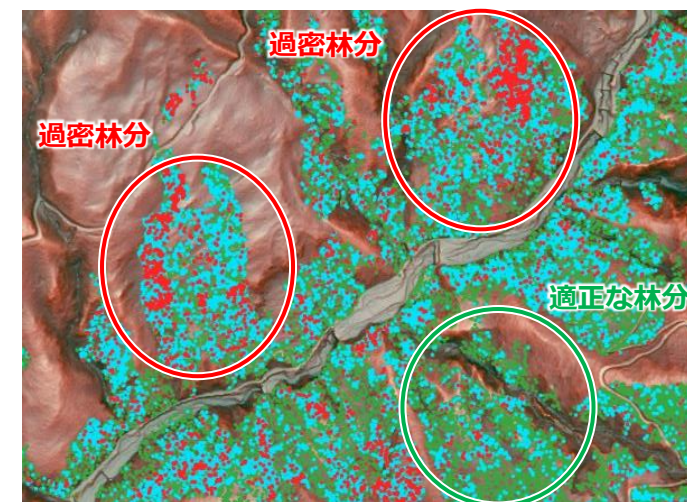
- ・山地災害の予防に当たっては、県内の森林状況を把握し、山地災害リスクの高い過密林分で治山事業を実施することが効果的であるが、**森林面積は広大であり調査は非常に困難である。**
- ・このため、福井県森林クラウドシステム(令和5年度より運用開始された **ICT 技術**)を用いて、県内の**森林状況を効率的かつ効果的に把握**する手法の確立に取り組んだ。
- ・所属・専門性の異なる若手職員が、既存の枠を越えて協働し、手法を確立した。



従来の森林調査（現地調査）

(2) 成果

- ・航空レーザ測量結果(立木1本ごとのデータ等)を使用し、樹冠長率(過密度を表す指標)によるデータ抽出を実施。
また、現地調査(6箇所)も実施し、現場との整合性も確認。
- ・立木を樹冠長率によって色分けした結果をPC画面上で可視化することで、山地災害リスクの高い過密林分の効率的な把握が可能となった。
- ・本取組を第64回治山研究発表会(全国大会)にて発表し、**最優秀賞を受賞**した。



過密化した森林は
青・赤色に表示されて一目瞭然

- ※福井県職員の最優秀賞受賞は平成17年以来19年ぶり
- ・林業・木材活用課(県林業部)や市町、森林組合での活用も期待されるため、**合同の研修会を開催**し、水平展開を図った。

(3) アピールポイント

- ・所属・専門性の異なる若手職員が、既存の枠を越えて協働。
- ・森林整備の推進に資するため、市町職員や森林組合への水平展開を実施。



東京で行われた研究発表会



合同の研修会を開催